



2010～2011 年度 RI 会長
Ray Klingensmith



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1121 / 2011. 1. 7

例 会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目 アネックス 3F

TeL 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

http://www.akasakarotary.com/

Weekly Report 東京赤坂ロータリークラブ週報

「原点に帰ろう 友情と絆 行動する赤坂ロータリークラブ」

2010～2011年度 東京赤坂ロータリークラブテーマ/吉岡琢磨会長

●本日の例会/ 2011 年 1 月 7 日 第 1146 回

新年初例会

「新年のご挨拶」 会 長 吉岡 琢磨
「新春落語」 落語家 柳家さん生 氏

●前回報告/2010 年 12 月 24 日 第 1145 回例会

卓話: イニシエーションスピーチ

株式会社ヒロ画廊 代表取締役 藤井 万博 氏

新年のご挨拶

会長 吉岡 琢磨

新年、明けましておめでとうございます。新しい年をい
かがお迎えになられましたでしょうか。

昨年は、歴史的な政権交代を実現した民主党政権への期待
が失望へと変わっていった事や、円高が一層進み経済状況
が一向に好転せず、先行き不安の厳しい年でした。2010
～2011 年度は昨年 1 月以前から準備に入り 7 月にスター
トしましたが、またたく間に 1 年が経ってしまいました。
会員数 47 名でスタートしましたが増強委員会の努力によ
り上期中に 3 名の新会員を迎える事で上期では純増 3 名
の 50 名となりましたが、予断を赦されない状況に変わり
がありません。下期の増強活動を一層活性化する必要があ
る事は、財政の健全化と例会の活性化にも直結するのは明
白です。

当年度の上期取組みで特筆できることが多々ありました。
まず、辰野ガバナー公式訪問が当クラブ単独で実施されま
した。従来迄の例会前の懇談会から今回は、会長、幹事、
会長エレクトとの協議会方式で実施され、その内容は週報
で皆様にお知らせ致しましたように、大変中身の濃いもの
となりました。また、真新しい取組みとして「長期計画」
の立案がありました。年度がスタートする前から取組みを
いたしまして、年度スタートの 7 月 1 日には戦略的長期計
画のワークシートが叩き台として、地区に提出されまし
た。その後、長期計画委員会が発足し現在活動中でありま
す。次に今年度 R I のテーマ「地域を育み大陸をつなぐ」
から会員意識の国際化が望まれております。当クラブは従
前から友好関係にあります韓国公山城ロータリークラブ
との姉妹クラブ締結を当クラブ理事会、会員の総意とし
まして韓国公山城ロータリークラブからの申し入れを大歓
迎する運びとなりました。さらに、会員国際化を目指して
いた当クラブは上期に中国人会員として周さん、韓国人会
員として朴さんの入会が実現いたしました。

更に次年度は赤坂ロータリークラブ創立 25 周年の節目
の年を迎えます。近く実行委員会を発足させスタートいた
します。残り半年は当クラブ年度として課題は山積してい
ますが、皆様と共に輝きある素敵なクラブ年度として行き
たいと思います。皆様のご協力をお願い申し上げます。本
年が皆様にとって素晴らしい年でありますようにご祈念
申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



幹事報告: (橋本幹事)

1. 事務局の年末年始の予定については、次のようになり
ます。12 月 28 日(火)～1 月 4 日(火)まで休みです。
2. 米山梅吉記念館から 100 円寄付の依頼が来ています。
来年に入りましたら入沢社会奉仕委員長と相談して
対応いたしますので、皆様のご協力を願います。
3. ロータリーカード入会申込みの依頼が地区からきて
おりますので皆様のご検討を願います。

4. 例会日の変更について

2 月 10 日(木)は公山城 R C との
姉妹クラブ締結調印式がありま
すので、例会日と致します。この
振替として 3 月 25 日は休会です
ので、皆様お間違いないよう、
お願い申し上げます。



親睦活動委員会: (岩上委員長)

1. 2010～2011 年度 1 月～3 月の各委員会例会前担当表
を配布いたしました。最近、無断で役割担当を欠席
される会員が多くみられます。ロータリアンのマナ
ーとして、代理の方に役割を替わって頂くよう、
各自責任を持って頂きたいと思ひます。

2. 1 月の火曜会は、第 2 火曜
日の 1 月 11 日に開催いた
しますので、お間違ひの無
いよう！2 月の火曜会と友
モア会を兼ねまして開催す
る予定です。



R 情報委員会: (村山委員長)

1 月 21 日(金)例会後 13:40～
15:10 新会員研修会を開催し
ます。なお、リーダーシップ研
修セミナーを兼ねますので、新
会員以外の方も奮ってご参加
願ひます。



慶事披露： 誕生日祝

吉田 用親 君(12月 3日) 飯島 規之 君(12月 6日)
秋吉 志郎 君(12月12日) 内田 憲三 君(12月15日)
柴本 芳郎 君(12月18日) 高須 康有 君(12月23日)



出席報告：会員 50 名／出席 26 名・欠席 24 名

ビジター：斎藤貞夫(札幌 RC)、鎌田進(東京目黒 RC)

計 2 名(順不同・敬称略)



12月17日(金) / 18件 39,000円

本年度累計 654,600円

多額 寄付を有難うございました。

吉岡琢磨/皆様ロータリークラブ前期ご協力ありがとうございました。後期もよろしくお願いします。藤井さん、イニシエーション楽しみにしています。高須康有/皆様、今年も大変お世話になりました。誕生祝ありがとうございます。内田憲三/藤井さん楽しみにしていました。誕生祝ありがとうございます。64歳になりました。皆様、私事ですが、しばらく休ませて頂きます。良いお年をお迎えください。

西澤民夫/藤井さんイニシエーションスピーチを楽しみにしています！メリークリスマス！飯島規之/誕生日ありがとうございます。佐藤さんニコニコお疲れさまです。清水實/吉岡さん、先日は私共のオペレッタを見て頂きましてありがとうございます。藤井さんイニシエーションスピーチ楽しみです。皆様1年間ありがとうございました。

石井謙次/皆様1年間お世話になりました。藤井さんががんばって。岩上さん先日は家内が大変お世話になりました。岩上義明/皆様、今年1年間お世話になりました。藤井さん、本日のイニシエーションスピーチ頑張ってください。小原健/今年も何とか無事に過ごせました。感謝です。来るべき新年のためにニコニコを！長谷川弘志/藤井さんのイニシエーションスピーチ心待ちにしていたが、欠席となり残念です。佐藤さんにスピーチの内容を聞くつもりです。気合を入れてガンバッテください。橋本年男/今年1年間大変お世話になりました。来年もよろしくお願い申し上げます。藤井さんのイニシエーションスピーチ、楽しみにしております。尾関武男/いよいよ今年最後の例会です。1年間お世話になりました。来年もよろしく。皆様にとって良い年でありますように。渡部一元/藤井さん、いよいよ晴れの舞台ですね。方の力を抜いてスピーチを楽しんでください。尾上克/藤井さん今日のイニシエーションスピーチガンバッテ！柴本芳郎/誕生ヨ祝い有難うございます。86歳(ハローの年)になりました。村山公士/今年も1年間、皆様お疲れ様でした。藤井さん、イニシエーションスピーチ楽しみにしています。藤井万博/大変緊張しております。上手くお話できますかわかりませんが、どうぞ、宜しくお願いいたします。佐藤雅彦/メリークリスマス！そして皆様、一年間お疲れ様でした。藤井さんイニシエーションスピーチ楽しみにしています。

イニシエーションスピーチ

藤井 万博氏(Fujii Kazuhiro)

2010年7月16日入会

私は4人兄弟の長男として東京都世田谷区に生まれ育ちました。世田谷区は都内でも自然に恵まれた環境で、幼少期は多摩川や、等々力溪谷などで自然にふれあいながら過ごすことが出来ました。スポーツは小学生の頃、長年カナヅチで苦手であった水泳を何とか克服しないといけないものによって興味を引かれていましたのでインドア派かと思えます。その後趣味は音楽、特にロックに魅了されギターを始め、学生時代はバンドを組んだりしていました。

家族構成は家内、そして7才と4才の息子がおります。次男には生涯兄ゴッホを支え続けた弟の“テオ”という名前をつけました。ゴッホ兄弟ぐらい兄弟愛を大切に育ってほしいものです。週末は私が見たい展覧会を家族全員で見に行くことが多く、そうしているうちに子供たちの自然に美術へ関心をもつようになりました。

現在、画廊という仕事をしておりますが、この仕事は私で2代目です。よく画廊を始めたきっかけを聞かれることがあります。父の場合は両親の家系ともに美術商ではございませんでした。祖父の家系は江戸時代、大阪で両替商と旅籠、明治に入りましてからは東京で証券会社を営んでいたようです。その祖父は、京都の祖母の家へ婿養子に行くまでは、生まれ育ちともにここ赤坂の氷川町でした。こうして私が赤坂ロータリーへ入会させていただくことになりましたのもご縁かと思っております。祖母の家系は京都市で社会事業に力を入れていたようです。その事業の一つに美術館建設などがあり、そのような話の影響で父が美術に興味を持ったと聞いております。

私は美術やアーティストとのふれあいは幼少期からありましたが、この仕事に興味を持ち始めたのは、現代美術シーンを目のあたりにした大学生の頃です。特にその頃はエネルギーなアメリカ現代美術に関心があり刺激されました。その後、アーティストの方々との交流が次第に増え、気が付いたら学生時代からアートフェアなどイベントなどでこの仕事を手伝うようになっていました。実際に画廊という仕事はどういうものかと分かってきたのはこの頃からです。

よくバブル景気の話聞きますが、私は実際に経験していない世代です。その後の日本経済はご存知のようにほぼ低迷したまま現在まで続いていますので、美術品は売れづらいものだという実感があります。ただこの感覚は逆に良かったようで、私たちの世代は不景気に打たれ強いかもしれません。

日本のアート界も大きな転換期を向かえています。今までであった構造は、これからは当てはまらない時代になってゆくのは確実です。日本で洋画商という画商が現れてから約80年、先人から学んだものを大切にしつつ、温故知新を心がけ、新たな世界を同世代の仲間たちと作り上げて行きたいと思っております。ご清聴誠にありがとうございました。

●次回予告/ 2011年1月14日(金) 第1147例会

卓話予定：「間違えだらけの医者選び」

医師 ジャーナリスト 富家 孝 氏